

平成25年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	25年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考(課題・総括等)	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者:約2万人	参加者:16,568人 回収ごみ量:20.29t	のぼり旗等により、広く区民にアピールして目標である2万人の参加を目指す。	地域力推進室
	2 山科区エコアクションNo.1宣言事業の実施	次世代への環境啓発を促進するため、子ども達が遊びながら学べる啓発イベントを開催	環境イベント「みんなで楽しむエコライフ」(平成25年9月14日) ・かえっこバザールの実施 ・映画「北極のナヌー」の上映	児童館の協力もあり、多くの子ども達が参加して、エコの取組を啓発することができた。	地域力推進室
	3 「エコ学区」事業	冊子「山科ECO新聞」を参考に、各学区がエコの取組をさらに進められるように支援	・エコ学区タペストリーの贈呈式を実施 ・山科エコ学区ミーティングを開催し、各学区でエコの取組をされている方の相互交流会を実施	エコ学区支援物品を活用して、学区でのエコイベントの取組を支援していく。	地域力推進室 環境政策局
	4 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数:7,000株	花苗植数:5,140株 (うち1,500株を仙台市の仮設住宅へ贈呈)	区役所前、東部文化会館前花壇、JR山科駅前スタンディングバスケットが四季折々の花で彩られたとともに、仙台市の仮設住宅住民からも喜んでいただいた。	地域力推進室
	5 山科区民花の回廊募金の実施	東山自然緑地の公園にヤマザクラを植樹	東山自然緑地の公園にヤマザクラ(2本)を植樹	引き続き、区内にサクラなど様々な花を植栽していく。	地域力推進室
2 まちの魅力・観光を磨く	1 やましなY級グルメ創設プロジェクト	山科ならではの特産品、農産品などを活用した料理メニューや活用の仕方を市民から募集し、地域団体、生産者、大学等と連携し「やましなY級グルメ」を確立	2回のレシピ募集、冊子の発行、イベントへの出展を実施	山科の食文化を発掘、発信できた。	地域力推進室
	2 アートロードなぎつじの創設	地下鉄柳辻駅の地下通路壁面に芸術作品を展示できるスペースを設け、山科区民等を対象に展示スペースを貸し出し、作品発表の機会を提供	平成26年3月10日に開設。開設を記念し、開設日から、同年4月9日まで、過去から現在に至る山科の歴史や文化に触れていただけのような展示を中心とした企画展を開催	駅の賑わい創出ほか、多くの区民に利用いただくため、市民しんぶん山科区版等で、利用をよびかける。	地域力推進室
	3 MYやましな改訂版の発行	改訂版の発行	10,000万部作成	区民からの御要望が多かった山科区全体を網羅した案内図を時点修正することができた。	地域力推進室
	4 地下鉄集客・交流プロジェクト ～山科・感動ツーリズム～	観光資源の掘り起こしとプロモーションの実施	山科にある潜在的な観光資源の掘り起こしのため、以下のとおり実施 1地元との連携による事業の実施 ・随心院「こまちぶみ コンサート」 ・毘沙門堂「ライトアップ・夜間特別拝観」 ・スタンプラリー 2他団体による取組の誘致 ・まいまい京都「山科ツアー」 3既に地元で行われている取組のPR等 ・清水焼の郷まつり ・山科義士まつり 等 4ホームページやフェイスブック、散策マップ等により、山科エリア全体をPR	実施によって、地下鉄増客や山科の地域振興・観光振興に寄与した。今後は地域の人を巻き込んだ事業展開を考える必要がある。	地域力推進室、産業観光局、都市計画局、交通局
	5 京都・やましな観光ウィークの実施	前年度を上回るイベントの参加者数(有料入場者)	イベントの参加者数(有料入場者数):約4,200人 (前年度:1,000人)	目標を達成できたが、知名度アップのため、より一層の広報が必要である。	地域力推進室
	6 ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流の促進	「区民ギャラリー」 入場者数約600人、出展作品223点 「区民芸能フェア」 入場者数延べ3,000人、出演者約600人	実施により区民の相互交流が図られた。	地域力推進室
	7 ふれあい“やましな”区民史跡(山科の魅力探訪)の探訪の実施	区内の歴史的・文化的で魅力のあるコースを設定	・3コース ・参加者27名 ・リポーターを増やし、参加者が語り部としての意識向上に資することを目的として「修了証」を配布	広報の方法を改善して、参加者を増やす取組を実施する。	地域力推進室
	8 「大好き! やましな魅力発信プラットフォーム」の運営	参加者数と発信件数の拡大	参加者81名 発信件数267件 (H26.3.12)	参加者数と発信件数の拡大のため、区役所としても魅力のある情報発信に努めていく。	地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	・私道の移管への支援 ・早期の公共交通導入に向けた取組の推進	移管を支援し、早期の公共交通導入に向けた取組を推進	公共交通導入に向けて大津市をはじめ、バス事業者等の関係機関との協議を進めていく。	地域力推進室、建設局
	2 山科区地下鉄駅周辺おでかけマップの作成	東野駅周辺おでかけマップの作成	・交通局との連携により山科区内の各地下鉄駅におでかけマップを作成(46,000枚) ・地下鉄に隣接する各学区の協力を得て全戸配布を実施	交通局との連携により、ダイヤ改訂にも対応できるマップ構成にすることができた。	地域力推進室
	3 山科区の交通問題の改善に向けた取組	取組の充実	バス待ち環境の改善として、以下を実施 1バス停ベンチの更新(10箇所) 2陵ヶ岡天智天皇陵バス停の新設 3外環三条に広告付きバス停上屋の新設	引き続き、山科区の既存及び新交通システムの改善方策について、関係機関と協議を進めていく。	地域力推進室、都市計画局、交通局、(京阪バス)
4 健康・福祉を推進する	1 健康づくりサポーター(キャットハンズ)とウォーキング	山科区民を対象としたウォーキングを年間3回開催する。	ウォーキングを2回開催。(1回は雨天中止)参加者:96名	参加者増、魅力あるコースの発掘。さらなるサポーターの資質向上に努める。	健康づくり推進課
	2 やましなっこひろばの実施	地域子育て支援ステーションや主任児童委員との共汗事業で、4カ所の公園で年8回開催	参加者 5月実施分 (子)70人(親)65人 10月実施分 (子)45人(親)42人	対象者への周知がより一層必要である。	支援課
	3 山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会との共汗事業で、順次、設置数を増やしていく。	6月に4カ所目(大塚学区)が開設	より身近なところで参加してもらえるよう、フリースペースの増設を図る。	支援課
	4 民生委員・児童委員等改選事務の円滑な実施	改選スケジュールに則り、改選事務が円滑に実施できるよう取り組む。	改選スケジュールに則り、スムーズに改選事務を実施	—	福祉介護課
	5 介護保険事業の適正かつ円滑な実施	引き続き窓口での丁寧な説明に努めるとともに、徴収率の向上と適正な要介護認定・保険給付に努める。	窓口や電話で制度、手続の丁寧な説明に努め、様々な取組により徴収率(H25 97.9%)の向上と適正な要介護認定・保険給付に努めた。	徴収率向上のため、さらなる制度周知を図る。	福祉介護課
	6 福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	制度周知や適正かつ円滑な事務の実施に努める。	市民しんぶん区版への掲載、チラシやポスターによる制度の周知に努め、適正かつ円滑な事務を実施	対象者に対し、さらなる制度周知を図る。	福祉介護課

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	7 地域福祉推進委員会活動の充実	「地域福祉を考える集い」の開催、フリースペースの運営	「本委員会」2回、「作業部会」4回、「事務局会議」適宜、「山科区の地域福祉を考える集い」1回を開催	都(みやこ)・地域福祉推進指針2014に基づき、区社協との連携強化に努める。	支援課
	8 「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	代表者会議実務者会議等の開催	「代表者会議」1回、「実務者会議」4回実施。「個別ケース検討会議」も頻りに開催され担当者が参加	関係機関との日常的な連携協力関係構築に努める。	支援課
	9 地域包括支援センターの活動を支援	地域ケア会議の開催とあり方検討	「運営協議会」を2回実施。月1回の「運営会議」で課題の共有と検討を行った。「地域ケア会議」は各学区約2回は開催できている。	国の動向を踏まえ、日常生活圏域レベルでの地域ケア会議のあり方を検討する。	支援課
	10 東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議の開催と参加	毎月の「運営会議」「専門部会」に積極的に参加した。「ケース支援会議」にも担当者が参加	東部圏域でのさらなるネットワークの構築に努める。	支援課
	11 国民健康保険事業等の適正で円滑な運営	適正な賦課給付と徴収推進。丁寧かつ迅速な窓口対応	窓口における丁寧な対応、適正な賦課及び保険給付、保険料徴収率(H25 89.58%)の向上を推進	納付折衝を充実させるとともに、財産調査の徹底、口座振替の推奨を積極的に行い、さらなる徴収率の向上に努める。	保険年金課
	12 訪問相談指導、乳幼児健康診査の実施、促進	母子保健事業の充実	乳児健康診査(4か月健診47回実施・1015人受診、8か月健診48回実施・1024人受診、1歳6か月健診36回実施・1018人受診、3歳健診36回実施・960人受診)、訪問相談実施数1006件	受診率向上に向けて、未受診者への対応を充実させる。	健康づくり推進課
	13 相談対応やパパ・ママ教室などの子育て支援の充実	パパ・ママ教室や親子健康づくり講座の定期的な実施	プレパパ・ママ教室(18回開催・177人参加)、親子の健康づくり講座(23回開催・437人参加)、ベビーマッサージ教室(12回開催・27組参加)	教室により勧奨の仕方も様々であるが、必要な人に利用してもらえるように取り組む。	健康づくり推進課
	14 こころのふれあいネットワークの実施	各種フォーラムの開催	山科こころのふれあい夏まつり(8/7・アスニー山科・353人参加)、こころの健康を考えるサポートボランティア入門講座(9/17~10/10・延べ26人参加)、精神保健福祉懇談会(2/26・アスニー山科・77人参加)	内容を工夫し、参加者を増やすことで、精神障害者に対する正しい知識の普及、啓蒙を図る。また、地域住民との交流が図れるように取り組む。	健康づくり推進課
	15 感染症対策の充実	取組の実施	エイズ相談(19件)・HIV抗体検査(152件)、肝炎ウイルス検査(189件)、BCG予防接種(828件)	検診等による早期発見につながるよう、日々の機会を捉え、また、それぞれの普及啓発期間には、より一層工夫して検査の普及に努める。	健康づくり推進課
	16 たばこによる健康被害についての啓発や禁煙指導の推進	禁煙教室の開催と個別相談の実施	防煙教室の開催(3回実施。勤修中・大宅中・花山中学校)、個別禁煙相談・禁煙支援の取組実施(第2・4金曜日)	胸部検診等の機会を捉えて相談者が増加するよう、禁煙相談・禁煙支援の普及啓発に努める。	健康づくり推進課
17 がん検診の実施・利用促進	受診率の向上	がん検診の周知と実施(検診受診者/胃がん533人、大腸がん910人、乳がん964人、肺がん2452人)	受診率向上に向けて、受診機会の拡大と更なる広報の充実を努める。	健康づくり推進課	
5 地域のつながりを強める	1 山科“きずな”支援事業	地域団体・大学等との協働によるまちづくりの更なる推進	39団体39事業を支援	多くの事業を支援できた。支援内容の充実が必要である。	地域力推進室
	2 区民サービスの向上	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実	“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の実施・参加	窓口職場、外勤職場においては、全員参加のミーティング・研修を実施することは困難であるが、グループごとに複数回実施するなどの工夫を行い、多くの職員が参加できるように努める。	全課共通
	3 災害に強いまちづくりの推進	地域との協働での土砂災害に対する避難体制の構築及びモデル学区以外の避難所運営マニュアルの作成	地域との協働での土砂災害に対する避難体制の構築及びモデル学区以外の避難所運営マニュアルを作成(計10学区 H26年3月31日現在)	25年9月の台風18号を教訓とした防災・減災対策を進める。	地域力推進室
	4 適正な選挙事務の執行	投票事務の適正な執行体制の強化を図る。	投票事務の効率化を図り、円滑な進行管理に務めた。	—	地域力推進室
	5 「第2期山科区基本計画」の推進	山科区民まちづくり会議の運営等による推進	山科区民まちづくり会議の運営等によって推進を図った。(H25年7月30日、H25年11月29日開催)	第2期山科区基本計画のさらなる推進を図る。	地域力推進室
	6 獣害対策チームの運営	獣害防除勉強会の開催、獣害防除物品の貸出し、檻などによる捕獲	・獣害防除物品貸出し ・檻及び銃器による捕獲 ・勉強会開催 ※平成26年3月10日:大塚学区 3月11日:安朱・音羽学区	25年度は、サル等の出没通報が少なかった。通報件数が減った年の翌年は増えているが、引き続き、獣害の取組を継続する必要がある。	地域力推進室 文化市民局 産業観光局
	7 生活安全条例に基づく施策の推進	学区の安心安全ネット継続応援事業の実施:全13学区	学区の安心安全ネット継続応援事業の実施:全13学区	パトロール用ベストの購入等に助成したことで、学区の防犯活動に寄与することができた。	地域力推進室、 文化市民局
	8 ふれあい“やましな”区民まつりの実施	ステージ発表、啓発コーナー、模擬店の充実	参加者:約18,000人 出店43ブース、出演12団体 占有範囲が縮小する中で、安心安全でエコなイベントを開催できた。	参加希望団体が増加する中で、できる限り多くの方に参加していただくための検討が必要である。	地域力推進室
	9 個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	係会議、“きょうかん”ミーティングの更なる充実を図る。	個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。 課内会議、研修等により更なるサービス向上を図った。	—	市民窓口課
	10 市税についての市民への説明責任の徹底と適正・公平な課税及び徴収の推進	丁寧で分かりやすい窓口・電話対応、徴収率の向上	丁寧でわかりやすい窓口・電話対応の実施、徴収率(H25 93.2%)向上に向けた取組の実施	滞納整理の早期着手を行い、滞納繰越額の圧縮を進める。	市民税課、 固定資産税課、 納税課
	11 食の安心・安全の確保と区民への的確な情報提供	食品表示監視の徹底	平成25年度京都市食品衛生監視指導計画に基づき、「京の食文化」を支える豆腐、惣菜等の製造施設を重点的に年間を通じて複数回の監視指導(食品製造施設:217件、食品販売施設:443件、違反事例なし)を実施するとともに、製品検査を行った。	全国的には表示の不備による食品の回収事例は散見されており、今後も継続した監視指導に努める。	衛生課
	12 動物愛護とペット飼育マナーの向上	啓発活動の実施	犬や猫を中心としたペットの飼育マナーや動物愛護について飼い主等へ指導、啓発を実施した。 苦情等に対応し、336件の啓発指導を実施	今後も苦情件数を減少させるため、さらなる啓発活動に努める。	衛生課